

## 議員特別研修実施報告書

報告議員名	佐藤 誠洋	報告日	平成30年11月21日
調査研究・研修等 名称	北海道厚岸町・釧路市の取組みについて		
実施日	平成30年10月9日 ～ 平成30年10月11日		
会場	厚岸町・釧路市		
調査研究・研修等の 概要	厚岸町 IP告知端末整備について 釧路市 観光(ショーケース)の取組みについて		
調査研究・研修等の 成果と感想	<p>1、厚岸町</p> <p>いつ起きてもおかしくない、と言われている「道東沖地震」。人口の9割が海岸沿いに居住している厚岸町の地層を調べて分かった津波の痕跡は、巨大地震の発生に備えなくてはならないことを念頭に した防災計画の推進でした。</p> <p>地上デジタル放送の難視聴エリアが拡大し、約3000世帯が受信困難となったことから、「IP告知端末事業」を導入し、通常時はテレビ電話機能サービス、行政情報で活用し、非常時は地震と津波を意識した情報伝達網の一つとして活用していく事業でした。</p> <p>この他に、防災行政無線の更新、全世帯の個別受信機の更新、屋外拡声器の更新の事業を進めて、住民の命を守る取り組みを展開中 でした。</p> <p>横手市とは比較できないほどの二重、三重の防災情報の伝達手段の構築は、持っている機能を充分発揮されていない、もったいないほどの設備充実ではありましたが、「いつか必ず発生する巨大地震・津波発生地帯に暮らす自治体」の取組みに圧倒されました。</p> <p>2、釧路市</p> <p>東北海道の中核・拠点都市である釧路市が行った、国交省予算の「観光立国ショーケース事業」について。</p> <p>これは、釧路市の他、金沢市、長崎市が選定された、「市とDMO法人」が実施計画を策定して推進している事業です。</p> <p>「何で飯を食っていくのか。」</p> <p>釧路市が「まちの活力を高める地域経済の活性化」の一つとして、観光を戦略としたことです。</p> <p>特に外国人旅行者をターゲットとしており、さらに、欧米人アジア圏の富裕層にはアドベンチャー体験型、台湾・中国などのアジア圏には、観光コンテンツの提案と細分化された戦略でした。</p>		

	<p>データに基づいた分析による戦略の推進は、お見事です。</p> <p>課題は、市・行政が主導役であり、DMO の機能が十分発揮されていない、と感じたことです。</p> <p>先進地でさえ DMO が十分生かし切れていない状況ですから、横手市の DMO はいかに課題が多いことか、です。</p> <p>横手市は、「総花的な活性化策」を打ち上げているだけで、「なにで飯を食っていくのか。」という戦略が無い、ことを改めて感じた研修でした。</p>
--	--

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。